

2. 研究所の組織運営

2.1 当該年度の組織変更

2.1.1 教職員組織

令和 6 年度

4 月 1 日 産学共同研究部門ダム再生・流砂環境再生技術研究領域設置

7 月 1 日 総合防災研究グループおよび大気・水研究グループの改組にともない、気象・流域災害研究部門および附属気候変動適応研究センターを設置

2.1.2 教職員定員数の推移

年度	教授	助教授 ↓ 准教授	助手 ↓ 助教	技術 職員	計	備考
平 12	34	38	35	30	137	事務部，宇治地区事務部に統合
平 13	34	38	35	28	134	
平 14	34	38	34	26	132	
平 15	34	38	34	26	132	
平 16	34	38	34	25	131	法人化に伴い技官・事務官の名称は廃止
平 17	34	38	34	25	131	改組，4 グループ制導入
平 18	34	38	34	25	131	
平 19	34	38	34	25	131	
平 20	34	38	33	24	129	
平 21	34	38	33	23	128	
平 22	34	38	33	23	128	
平 23	34	38	33	23	128	
平 24	34	38	33	23	128	
平 25	34	38	33	23	128	
平 26	34	38	30	23	125	
平 27	34	38	28	23	123	
平 28	34	37	28	23	123	
平 29	34	35	28	23	120	
平 30	33	35	28	21	117	
令 1	33	34	28	21	116	
令 2	33	34	28	21	116	
令 3	34	35	23	21	113	
令 4	34	36	17	21	108	産学共同研究部門アートイノベーション（凸版印刷）研究領域設置 地震・火山研究グループ改組
令 5	34	36	17	21	108	斜面未災学研究センター設立 産学共同研究部門災害リスクファイナンス（SOMPO リスクマネジメント）研究分野設置

令 6	34	36	17	21	108	産学共同研究部門ダム再生・流砂環境再生技術研究領域設置 総合防災研究グループおよび大気・水研究グループの改組 にともない、気象・流域災害研究部門および附属気候変動 適応研究センターを設置
-----	----	----	----	----	-----	--

注) 平成 19 年度以降再雇用職員振替分を含む
若手重点戦略定員，再配置定員，特定教員，特任教員は含まない

2.1.3 防災研究所職員数・職員構成

1. 教員数 〔単位：人〕

	令和6年度(R7.3.31現在)																
	常勤										非常勤					総数	
	現員数	任期制導入状況									併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	歳未満 (若手数) (40)		歳以下 (若手数) (35)
		(女性数)	(外国人数)	歳未満 (若手数) (40)	歳以下 (若手数) (35)	(任期付教員数)	(女性数)	(外国人数)	満 (40歳未満 (若手数) (40)	下 (35歳以下 (若手数) (35)							
教授	41	3	5	1	0	7	1	2	1	0	0	5	0	1	0	0	46
准教授	40	(4)	(4)	(7)	(3)	(9)	(0)	(2)	(1)	(0)	0	3	(1)	(0)	(0)	(0)	43
講師	1	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	7	(2)	(0)	(1)	(1)	8
助教	19	(5)	(3)	(14)	(10)	(15)	(5)	(3)	(12)	(10)	0	0	(0)	(0)	(0)	(0)	19
助手	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	(0)	(0)	(0)	(0)	0
技術職員	19	(3)	(0)	(9)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	90	(36)	(11)	(73)	(71)	109
事務職員	27	(27)	(1)	(1)	(1)	(7)	(7)	(1)	(0)	(0)	0	48	(33)	(5)	(23)	(23)	75
その他	17	(1)	(11)	(13)	(12)	(17)	(1)	(11)	(13)	(12)	0	33	(10)	(3)	(5)	(3)	50
合計	164	(44)	(25)	(45)	(31)	(55)	(14)	(19)	(27)	(22)	0	186	(82)	(20)	(102)	(98)	350

※()は現員数の内数

○その他人員(R7.3.31現在)

【常勤】特定研究員16名、特定研究員(学振PD)1名
【非常勤】研究員(非常勤)24名、労務補佐員1名、派遣職員8名

※教員数のその他に該当する教職員がいる場合には、その職名及び人数を記入してください。

防 災 研 究 所 職 員 配 置 表

所長：堀 智晴(R6.4.1～R8.3.31) 副所長：榎本 剛(将来計画担当)・境 有紀(研究・教育担当)・矢守 克也(広報国際担当)・西村 卓也(評価公正担当) (R6.4.1～R8.3.31)

令和7年3月1日現在

研究グループ名・部門・センター名	教 授	准教授・講師	助 教	事務・技術補佐員等	非常勤研究員等
総合防災研究グループ (グループ長：佐山 敬洋 R6. 4. 1～R7. 3. 31)					
(部門長：佐山 敬洋 R6. 4. 1～R7. 3. 31)					
社会防災研究部門	境 有紀	西野 智研		伊藤 晴子(派)(兼) 岡田達司(派)	
都市空間安全制御研究分野		関口 春子 田中 智大 LAHOURNAT, Florence (講師)	YAMAMOTO, Eva Mia Siska(特)	河津ゆかり(支)(兼) 井上 園(支)・藤林 純(支)・才寺 香織	中尾 真介(r)・李 惠智(r) 菅原 快斗(特)
都市防災計画研究分野	牧 紀男				
防災技術政策研究分野	佐山 敬洋◎				
地域医療BCP連携研究分野 (R6.2.8～R11.2.7)	大鶴 繁(連携)				
国際防災共同研究分野(外国人客員)	牧 紀男(兼)	倉田 真宏(兼)			
地震リスク評価高度化(阪神コンサルタンツ)研究分野(客附)	JIANG, Xinyu☆ MCDONNELL, Jeffrey John☆			伊藤 晴子(派)(兼)	PETUKHIN, Anatoly(寄附研究部門教員)
災害リスクファイナンス (SDMPリスクマネジメント)研究分野(産学共同)	松島 格也(特)	齊藤 龍(特)	鶴島 大樹(特)	飯山 円	
(センター長：畑山 満則 R5.4.1～R7.3.31)					
附属巨大災害研究センター					
巨大災害過程研究領域	矢守 克也	中野 元太		酒井順子(支)・伊藤久美子(t)(兼) PERALTAGUT IERREZ, Astrid Rennee(t)	岡田 夏美(特)・GARIBAY RUBIO, Carlos Rodrigo(特)
災害情報システム研究領域	畑山 満則◎	廣井 慧		清水豊子	
災害リスクマネジメント研究領域	GRUZ, Ana Maria	松田 曜子		宮内智子(支)	PARRA ORDOZ Lina Maria(r)・JIANG, Peiyin(r)
歴史災害史料解析研究領域(客員)	近藤 誠司☆	竹内 裕希子☆			
地域災害研究領域(客員)	鮫浦 道生☆	諏訪 博彦☆			
国際災害情報ネットワーク研究領域(外国人客員)	QUEVAUVILLER, Philippe Jacques☆				
7-ト(ハベージ) (TOPPAN)研究領域(産学共同)	土佐 尚子(特)			須田亜希(派)	櫻井 繁樹(k)・中村 伊知哉(k) 中津 良平(k)[土佐研：吉田キャンパス]
地震・火山研究グループ (グループ長：吉村 令彦 R6. 4. 1～R7. 3. 31)					
(部門長：池田 芳樹 R6.4.1～ R7.3.31)					
地震防災研究部門					
地震発生機構	宮澤 理穂	山田 真澄		松島 正美(兼)	井上 公(k)[防災科研]
強震動	浅野 公之			浅野 幸	HALLO, Miroslav(学・外)
耐震基礎	後藤 浩之			森 美穂(兼)	澤田 純男(k)
耐震機構	池田 芳樹◎	倉田 真宏		藤生 千里	
(センター長：澁谷 拓郎 R5.4.1～R7.3.31)					
附属地震災害研究センター					
地震情報研究領域	大見 士朗			三和佐知栄	
宇宙測地研究領域	西村 卓也	徐 培亮	西川 友章 ROUET-LEDUC, Bertrand Philidoe Gerard(特)		上田 拓(特・学振PD)
内陸地震研究領域	深畑 幸俊	山崎 健一(宮)			小出 鯉太郎(r)・野末 陽平(学)
海域地震研究領域	矢守 克也(兼)(阿)				上西 昌子(g)(阿)
	澁谷 拓郎◎	伊藤 喜宏	山下 裕亮(宮)	坪内まどか・平尾由美香(支) 森山富士子(支)・伊藤久美子(兼) 秋月 美佳・戸高 可奈(宮) 荒木 紀子	RAMIREZ BANALES, Isaias manuel(特)
地盤震動研究領域	松島 信一	長嶋 史明			
地球計測研究領域		野田 博之			
断層物理研究領域					
地球物性研究領域(客員)	堤 浩之☆				
(センター長：中道 治久 R6.4.1～R8.3.31)					
附属火山防災研究センター					
火山噴火予知研究領域(桜)	中道 治久◎ 大見 士朗(兼)		山本 圭吾 山田 大志	清水里恵 森田 依子(t)・島木 亜矢子(t) 三反田めぐみ(t)・池田幸美(l) 佐野 香那(t)[鹿児島大学]	棚田 嘉博(k)・小林 哲夫(k)
地殻流体研究領域(宇治)	吉村 令慧		畑 真紀	松島 正美(兼)	
巨大噴火研究領域(桜)	筒井 智樹(特)	為栗 健	味喜 大介(特)	武盛 照美	
火山砂防研究領域(穂)※大気・水研究グループ所属	中谷 加奈(兼)(宇)	山野井 一輝(兼)(宇) 高山 翔輝		松本 友理(宇)(兼)	
地盤研究グループ (グループ長：松四 雄騎 R6. 4. 1～R7. 3. 31)					
(部門長：松四 雄騎 R6. 4. 1～R7. 3. 31)					
地盤防災解析研究分野	満岡 良介	上田 恭平		谷 千佳子(支)	HAN, Yusong(r)
山地災害環境研究分野	松四 雄騎◎			石田 美穂(支)(兼) 森川亜紀子(派)・牧嶋 平(派)	太田 義将(学)・近藤 有史(学)
傾斜地保全研究分野	小暮 智也	寺嶋 智巳		瀬戸 純子(派) 石田 美穂(支)(兼)	
(センター長：王 功輝 R6.4.1～R8.3.31)					
附属斜面水災研究センター					
未災情報研究領域	林 宏一	松澤 真		佐原 朋子(t)	
斜面災害予測研究領域	王 功輝◎	土井 一生		中辻 久美子(支) 正木 尚子[北海道大学] 河津ゆかり(支)(兼)(自然災害研究協議会)	YAN, Kongming(学・外)・LI, Changze(学)
斜面モニタリング研究領域		山崎新太郎(徳地)		石井 徳幸(徳地)(t)	荒井 紀之(k)(徳地)

令和 7 年 3 月 1 日現在

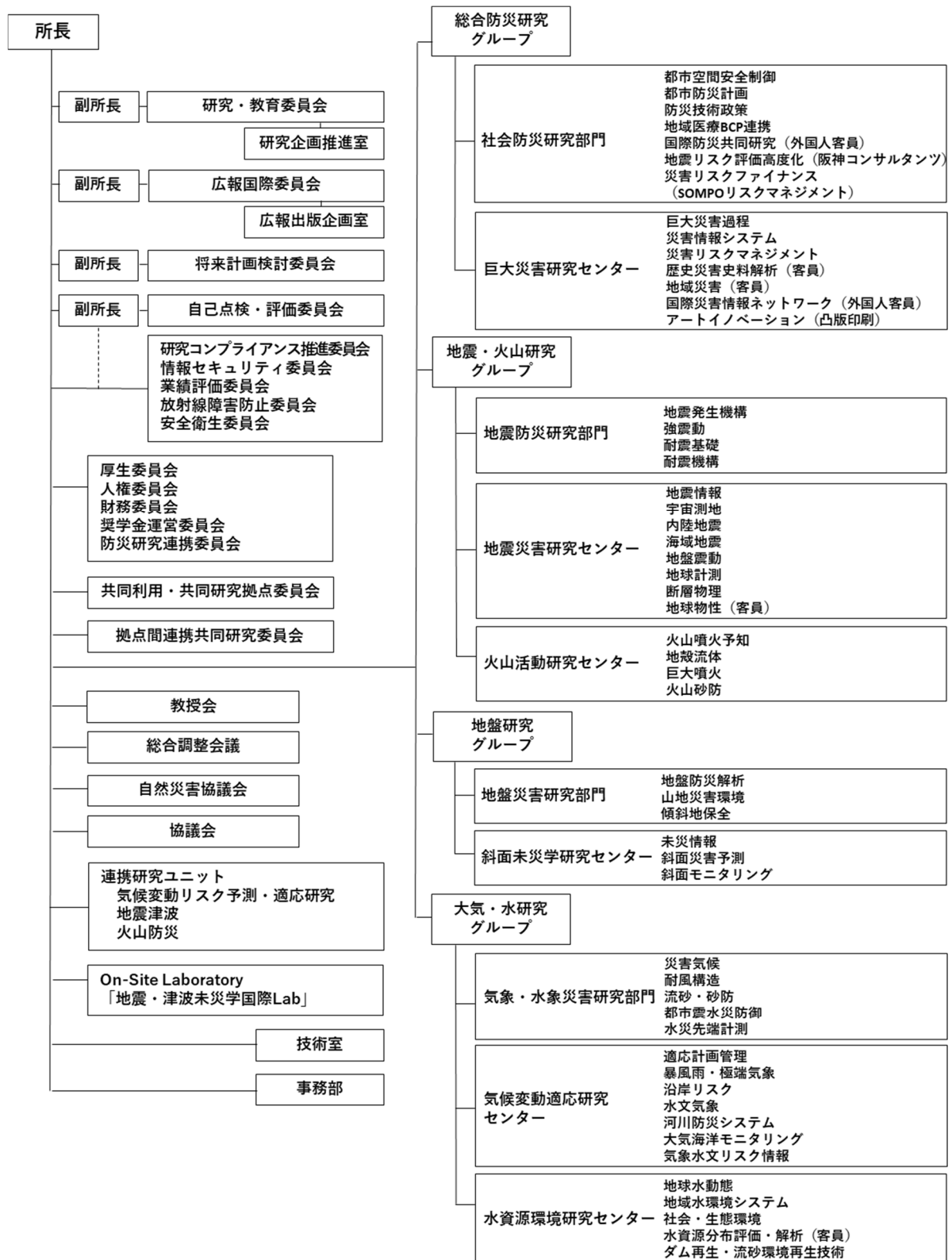
研究グループ名・部門・センター名		教 授		准教授		助 教		事務・技術補佐員等		非常勤研究員等			
大気・水研究グループ（グループ長：川池 健司 R6. 4. 1～R7. 3. 31）													
気象・流域災害研究部門（部門長：五十嵐 晃 R6. 7. 1～R7. 3. 31）													
災害気候研究分野		根本 剛		吉田 聡		井口 敬雄		西出 依子		小笠原 宏司(r)・中下 早織(学)			
耐風構造研究分野		西嶋 一敏						豊阪 美穂・久瀬 美紀(支)		Li, Rongmao(特)			
流砂・砂防研究分野		中谷 加奈(学)		山野井 一輝(学)				土井 こずえ(t)					
								田中 佳代(支)(兼)					
都市風水災防御研究分野		五十嵐 晃◎		米山 望				森 美穂(兼)		石川 容平(k)・牛島 省(k)			
								横尾 真由美(支)(兼)(自然災害学会)					
水災先端計測研究分野		山上 路生(学)						松本 友理(学)		内山 清(k)(大)			
気候変動適応研究センター（センター長：中北 英一 R6. 7. 1～R8. 3. 31）（副センター長：多々納 裕一 R6. 7. 1～R8. 3. 31）													
適応計画管理研究領域 ※総合防災研究グループ所属		多々納裕一○		SAMADDAR, Subhajyoti		LIU, Huan(特)		加藤 靖代(支)・マシューズ 歩来(支)		RAHADIANTO, Haris(特)・黒田 望(k)			
				藤見 俊夫				原田 久美子(t)		NGULUBE, Nombulelo Kitsepile(k)			
暴風雨・極端気象研究領域		竹見 哲也		伊藤 耕介		丹治 星河		戸田 嘉子・戸田 千紘(t)		DEL CASTILLO, Ma Flordeliza Pajarillo(k)			
								入江 健太(k)・TONG, Ling(k)		藤原 圭太(特)・LEE, Shao-Yi(特)・平野 創一朗(特)			
沿岸リスク研究領域		森 信人		志村 哲也		宮下 卓也		神崎 景子(支)・富永 ゆかり		LYU, Zuorui(特)・TSAI, Yu-Lin(特)・JD, Junbeam(特)			
								井上 智夫(k)・飯田 康生(学)		CHANG Chah-chih(r)・HAN Congji(r)			
水文気象研究領域		中北 英一◎		山口 弘誠		仲 ゆかり		西村由起子(支)・佐竹美悠(支)		大野 哲之(特)・HARJUPA, Wendi(特)・岡崎 恵(学)			
								宮町花織(t)・山川綾乃(t)					
河川防災システム研究領域		川池 健司(学)		竹林 洋史(学)		小柴 孝太(学)		山本 一美(学)・田中 佳代(学)(支)(兼)		和田 桂子(k)(学)・島井千恵(g)(学)			
								横尾 真由美(支)(兼)		CHANG Chah-chih(r)・HAN Congji(r)			
大気海洋モニタリング研究領域				馬場 康之(白)		今井 優樹(白)				平原 珠麻(g)(潮)			
				呉 映昕(特)		山本 浩大(特)		谷脇 朋子(派)		本間 基寛(k)			
附属水資源環境研究センター（センター長：田中 賢治 R5. 4. 1～R7. 3. 31）													
地球水動態研究領域		堀 智晴				山田 真史		西川 洋子(支)					
地域水環境システム研究領域		田中 賢治◎		萬 和明				沢田 裕美(支)・古谷 千絵(支)		KHUJANAZAROV, Temur(特)・永重 超哉(学)			
				峠 嘉哉(特)				小原久恵(支)(兼)・森本慎子(t)(兼)		CHANG, Juiche(特)・FENG, Dan(r)			
社会・生態環境研究領域		KANTOUSH, Sameh Ahmed		小林 草平		山本 浩大(特)(兼)		小原久恵(支)(兼)・茨木純子(支)(兼)		中村 亮太(学)			
				AhMED, Mohamed Saber		今井 優樹(白)(兼)		森本 慎子(t)(兼)		NGUYEN, Binh Quang(学・外)			
				Mohamed Sayed(特)									
水資源分布評価・解析研究領域(客員)		遠藤 崇浩☆		塩谷 哲史☆									
ダム再生・流砂環境再生技術研究領域(産学共同)		角 哲也(特)		有光剛(特)・恩田千早(特)		松本 知得(特)		茨木純子(支)(兼)・森本慎子(t)(兼)					
				吉村 健(特)									
連携研究ユニット													
気候変動リスク予測・適応研究 ユニット長：中北 英一 R2. 6. 1～R7. 3. 31		中北 英一(兼) 多々納 裕一(兼) 矢守 克也(兼) 畑山 満則(兼) 根本 剛(兼) 竹見 哲也(兼) 森 信人(兼) 川池 健司(学)(兼) 堀 智晴(兼) 角 哲也(特)(兼) 田中 賢治(兼) 渡岡 良介(兼) 佐山 敬洋(兼) 西嶋 一敏(兼)		峠 嘉哉(特)(兼) SAMADDAR, Subhajyoti(兼) 藤見 俊夫(兼) 志村 哲也(兼) 山口 弘誠(兼) 竹林 洋史(学)(兼) 吉田 聡(兼) 呉 映昕(特)(兼) 伊藤 耕介(兼) 萬 和明(兼) 山野井 一輝(学)(兼)		宮下 卓也(兼) 仲 ゆかり(兼) 山本 浩大(特)(兼) LIU, Huan(特)(兼) 今井 優樹(白)(兼) 丹治 星河(兼)		(工学) 立川 康人 市川 遼 KIM, Summin (学館) 山数 亮亮 (農学) 中村 公人 濱 武英		渡邊 紹裕(k)(兼)			
地震津波 ユニット長：矢守 克也 R3. 8. 1～R8. 7. 31		多々納 裕一(兼) 牧 紀男(兼) 矢守 克也(兼) ORUJ, Ana Maria(兼) 渡岡 良介(兼) 森 信人(兼) 西村 卓也(兼) 宮澤 理絵(兼) 中道 治久(兼) 多々納 裕一(兼) 矢守 克也(兼) 吉村 令恵(兼) 竹見 哲也(兼) 森 信人(兼) 根本 剛(兼) 大見 士朗(兼) 西村 卓也(兼) 王 功輝(兼) 中谷 加奈(学)(兼)		米山 望(兼) 西野 智研(兼) 藤見 俊夫(兼) 伊藤 善弘(兼) 馬場 康之(白)(兼) 山田 真澄(兼) 中野 元太(兼)		山下 裕亮(学)(兼) 西野 智研(兼) 宮下 卓也(兼) 西川 友章(兼)							
火山防災 ユニット長：吉村 令恵 R6. 4. 1～R8. 3. 31				為栗 健(兼) 竹林 洋史(学)(兼) 吉田 聡(兼) 山野井 一輝(兼)		井口 敬雄(兼) 山田 大志(兼)		(工学) 大西 正光 (農学) 宮田 秀介 (理学) 石井 杏佳 竹林 幹雄(神戸大)		真木 雅之(k)(桜)・宮本 邦明(k)(桜)・西 陸昭(k)(桜)			
所 長 室		堀 智晴(兼)						松本 充代(支)					
研究企画推進室		境 有紀室長(兼)		松島 信一教授(兼)・佐山 敬洋教授(兼)・浅野 公之教授(兼)									
広報出版企画室		吉田 聡准教授(兼)・松田 曜子准教授(兼)・竹林 洋史准教授(兼)・真田 泰生子(派)											
		矢守 克也室長(兼)・深畑 幸俊副室長(兼)・マネージャー：佐伯 かおる(◇)・JAMES, Wilma Theonesta(◇) R6. 4. 1～R7. 3. 31						稲田 弘子(支)					
技 術 室				技 術 職 員								非常勤研究員等	
室 長		吉川 昌宏										岡田 孝子(g)	
観測技術グループ		園田 忠臣(桜) 久保 輝広(白)・市田晃太郎(穂)・小松信太郎(宮)・竹中 悠亮(桜)											
実験技術グループ		高阪 和秀 米田 格・中川 漣・名田 彩乃											
機器開発技術グループ		三浦 勉(学) 遠山 康人(学)・長岡 愛理・中本 幹大(学)・宮町遼太郎											
情報技術グループ		山崎 友也 松浦 秀起・澤田麻沙代・川崎 慎吾										上村文敏(派)	

◎…部門長、センター長 ○…副センター長 ☆…客員教員 (連携)…連携教員 ※…外国人研究員 (特)…特定教員、研究員 ◇…特定職員 (k)…非常勤研究員 (支)…支援職員
(g)…研究支援推進員 (s)…教務補佐員 (t)…技術補佐員 (l)…リサーチ・アシスタント(RA経費) (学)…学振特別研究員 (学・外)…学振・外国人特別研究員
(派)…派遣社員 (兼)…複数研究室兼務 (学)…宇治川オープンラボラトリー (宇治)…宇治キャンパス勤務 (穂)…穂高砂防観測所 (白)…白浜海象観測所 (潮)…潮岬風力実験所
(宮)…宮崎観測所 (桜)…桜島火山観測所 (休)…休職 []京大雇用の他大学等での勤務地

99					客員教員・研究員10										
80				一般職 19				連携	連携	連携	特定	特別	特定	特定	特定
教授	准教授	助教	講師	技術 職員	教授	准教授	外国人研究員	教授	准教授	講師	教授	招聘教授	准教授	助教	研究員 職員
35	32	12	1	19	7	3	0	1	0	0	4	0	8	7	2

2.1.4 管理・組織運営

令和 6 年度（令和 7 年 3 月 31 日時点）



令和 6 年度の防災研究所における主な組織変更は、総合防災研究グループおよび大気・水研究グループの改組にともない、7 月 1 日に気象・流域災害研究部門および附属気候変動適応研究センターを設置されたことと、大気・水研究グループの水資源環境研究センターにダム再生・流砂環境再生技術研究領域が 4 月 1 日に設立されたことである。

新しく設置された気象・流域災害研究部門と気候変動適応研究センターは、気象・水象災害研究部門と流域災害研究センター、および社会防災研究部門の一部から再編されたものである。そのうち気候変動適応研究センターは、気候変動に伴い将来激甚化が懸念される気象災害・水災害の予測や社会の適応についての研究を行うとともに、同研究についての学内外の研究者に

よる共同研究や成果の社会還元を推進するために設立されたもので、気候変動リスク予測・適応研究連携研究ユニットとして行われてきた研究をさらに発展させていく。

ダム再生・流砂環境再生技術研究領域は、関西電力（株）、電源開発（株）、中部電力（株）、九州電力（株）、（株）建設技術研究所、（株）ニュージェック、西日本技術開発（株）、（一財）水源地環境センター、（一財）ダム技術センターとの新たな産学協同研究部門として開設されたもので、洪水調節機能の強化や水力発電の拡大に向けた「ダム再生技術」、ダムの長寿命化と河川・海岸環境の改善のための「流砂環境再生技術」を開発し、国内外のプロジェクトへ実装を進めていくものである。

2.2 各種委員会

2.2.1 将来計画検討委員会

将来計画検討委員会では、中長期計画の策定、新規人事に関する妥当性の検討、規程類の整備、技術室や隔地施設の運営、男女共同参画の推進等を行っている。2024年度における活動状況は以下の通りである。

2024年度には、予算配分に関するワーキングを開催し、中期的な検討課題についての議論を行った。年度始めには、任期付き助教を対象に若手研究者育成ワークショップを開催し、若手研究者の育成について取り組んだ。また、大気・水研究グループを中心とした改組に伴う規程等の整備を行った。さらに、フィールド研究拠点の運営経費についての基礎資料を更新した。加えて、女性教員や若手教員を増やすための施策を実施し、定員や女性及び若手教員の比率について年度末に確認を行った。

2.2.2 研究・教育委員会

本委員会は、防災研究所における研究・教育に関する様々な検討を行う委員会である。当委員会での検討は執行部と密接に連携させるため、2005年度から研究・教育担当の副所長が委員長を務めている。本委員会には、研究・教育に関する個別の課題検討を実施するため、教育専門委員会、図書専門委員会、研究企画推進室、DPRI シリーズ出版編集専門委員会の各専門委員会が設置されている。2024年度は、境教授（委員長）、渦岡教授、竹見教授、宮澤教授（教育専門委員会委員長）、松島教授（図書専門委員会委員長）、池田教授（DPRI シリーズ出版編集専門委員会委員長）、山崎事務長、岡本専門職員、真田委員（研究企画推進室室員）で構成された。

防災研究所は、2009年度に「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として認定され、2010年度から拠点としての活動を開始した。2022年度からは拠点として3期目に認定され、2024年度は中間評価の結果が示され継続が承認された。拠点は共同利用・共同研究拠点委員会（以下、拠点委員会）により運営され、研究企画推進室がサポートしている。

本委員会では、防災研究所自然災害研究協議会、京都大学研究連携基盤持続可能社会創造ユニット、東京大学地震研究所－京都大学防災研究所拠点間連携共同研究委員会の活動に関わる

情報を集積し、所内に周知した。また、京都大学研究連携基盤の次世代研究者支援および防災研究所の女性・若手研究者支援、博士後期課程学生の学位論文支援等の審査を行った。さらに、2024年度には令和5年度DPRI Awardの授賞式および令和6年度DPRI Awardの募集と審査を行った。

2.2.3 広報国際委員会

広報国際委員会は、広報国際担当副所長、広報・出版専門委員会、行事推進専門委員会、国際交流専門委員会、世界防災研究所連合事務局の各専門委員会の委員長（ただし、世界防災研究所連合事務局は事務局長）、そして、技術室、広報出版企画室、担当事務の代表者から構成されている。毎月、委員会を開催して各専門委員会の活動内容を確認するとともに、必要に応じて審議を行い、その内容を教授会に報告している。

広報・出版専門委員会では、ホームページの更新、防災研紹介ビデオの作成、要覧の更新、ニューズレターの発行、年報の発行、女子中高生向け魅力見える化コンテンツ作成等支援事業などを行った。

行事推進専門委員会では、令和6年度は新型コロナウイルス感染症に対する懸念が薄れたなか、ほぼ従前通りの形で、対面行事（一部オンライン配信）を開催した。第35回公開講座「京都で育む防災研究の新展開」は、令和6年9月14日に宇治キャンパスきはだホールで開催した。京大ウィークス2024では、宇治キャンパス、宇治川オープンラボラトリー、阿武山観測所、潮岬風力実験所、徳島地すべり観測所、宮崎観測所、桜島火山観測所で施設公開などを行った。令和6年度研究発表講演会を令和7年2月20日、21日に宇治キャンパスで開催した。特別講演3件、災害調査報告1件、技術支援報告1件、口頭発表154件、ポスター発表52件で、優秀発表賞14名、参加者数はオンライン153名（初日）、341名（2日目）、対面447名（2日合計、所内外含む）であった。

国際交流専門委員会では、海外とのMOUの新規締結や更新などを実施した。令和6年度末時点で73件である。あわせて、海外からの来訪希望者の増加を受け、受け入れ体制に関するマニュアルの整備も実施した。

世界防災研究所連合事務局では、第 5 回 Open Discussion Forum を令和 7 年 7 月 21-23 日に米国コロラド州で開催予定の第 7 回 GADRI Global Summit に向けた開催準備を進めた。令和 6 年度時点の参加機関数は 218 (57 の国と地域) である。

2.2.4 評価公正関係委員会

防災研究所の自己点検・評価や教員評価などへの評価事項への対応強化、ならびに不正防止や研究公正などへの公正事項への対応強化を目的として、令和 3 年 2 月教授会にて副所長 4 名体制（評価公正担当副所長の追加）への移行が承認された。これを受けて、令和 4 年度より、評価公正担当副所長は、自己点検・評価委員会委員長を兼ね、研究コンプライアンス推進委員会・部局業績評価委員会・情報セキュリティ委員会・放射線障害防止委員会・安全衛生委員会について、委員長である所長や委員長・幹事を補佐することになった。

自己点検・評価委員会は、防災研究所の研究教育水準の向上を図り、本研究所の目的および社会的使命を達成するため、研究所の研究教育活動などの状況について自己点検・評価を行う委員会である。第 4 期中期目標期間において部局に求められる自己点検評価の充実に対応して、令和 4 年度以後は、毎年度の研究教育活動について年報 C として取りまとめることにした。令和 6 年度は、令和 5 年度を対象とし、年報第 67 号 C として取りまとめ発行した。また、令和 7 年度は、3 年毎の教員評価の実施年度であり、令和 6 年 3 月 31 日を基準日として、各教員より自己評価書の提出を受け、防災研究所としての教員活動状況報告書を取りまとめた。

研究不正防止・経理不正防止のために、評価公正副所長ならびに研究コンプライアンス委員会より総合調整会議・教授会を通じて e-Learning の受講など周知を徹底した。加えて、部局独自に新規採用教員向け講習会（4 月）と全構成員向け講習会（2 月）を開催した。全構成員向け講習会については、ハイブリッド開催し、参加者 141 名であった。

研究コンプライアンス推進委員会は上記定時の周知を中心に、所内規程に従って所内の研究コンプライアンスの推進・充実・強化を進めている。令和 6 年度においては、「防災研究所における研究データ管理・公開に関する実施方針」の策定を行なった。

情報セキュリティ委員会は、平成 16 年に京都

大学の情報セキュリティ対策に関する規程に基づいて設置された委員会であり、所長が委員長を務める。ネットワークのセキュリティ確保に関わる事項、ソフトウェアのライセンス管理、情報セキュリティ講習会の開催を通じた啓発活動などを担当している。

放射線障害防止委員会は、所有する X 線発生装置と放射線業務従事者を適正に管理しており、令和 6 年度の委員会はメールによる議事及び資料の回覧を行なった。

安全衛生委員会は、安全衛生巡視計画の策定期間を、従来 4 月・10 月であったところ、3 月・9 月に前倒しし、巡視担当の委員の選任を 8 月として、巡視を十分前もって周知することで、安全衛生に対する意識向上に努めた。また、巡視対象の研究室等を毎年少しずつずらすことで、研究室毎の巡視時期が毎年異なる季節に当たるような巡視計画を策定した。その他、フィールドワークでの安全確保に対する注意喚起、第一種衛生管理者免許取得のための諸経費の防災研究所負担の取り決めの策定など、安全衛生の取り組みを進めた。

○宇治地区における公的研究費等の適正管理及び研究にかかるコンプライアンスに関する取組事例（過去 3 か年分）

● 公的研究費等の適正管理

年 2 回、経理事務等に関する説明会のプログラム内で実施

2022 年 7 月 5 日

公的研究費等の適正管理について

2022 年 12 月 16 日

不正経理を防止するための取り組みについて

2023 年 6 月 30 日

ルール遵守の重要性和不正行為の影響

2023 年 12 月 22 日

不正防止計画におけるモニタリング

2024 年 6 月 26～27 日

研究費の不正使用とは？

2024 年 12 月 23 日

競争的研究費等の使用に関する行動規範について

● 出張事実の確認

前年度の出張案件から無作為抽出したものについて、打合せ相手などに書面で出張事実を確認

2022 年度 10 件

2023 年度 12 件

2024 年度 4 件

● 謝金実態ヒアリング

謝金から無作為抽出したものについて、実施者本人にヒアリングを実施

2022 年度 4 件
2023 年度 4 件
2024 年度 4 件

○競争的研究費等運用実態ヒアリング

2010 年度から「京都大学競争的資金等不正防止計画」に基づき、各研究室の実態を把握した上で適切な指導・助言を行い、研究費の円滑な執行を目指して、宇治地区事務部職員が数名ずつのチームを組んで各研究室を訪問してヒアリングを実施している。

実施に当たっては、チェックシートを用いるなど、ポイントを明確化しているほか、ヒアリングを行う側のレベルを一定に保つよう心掛けている。

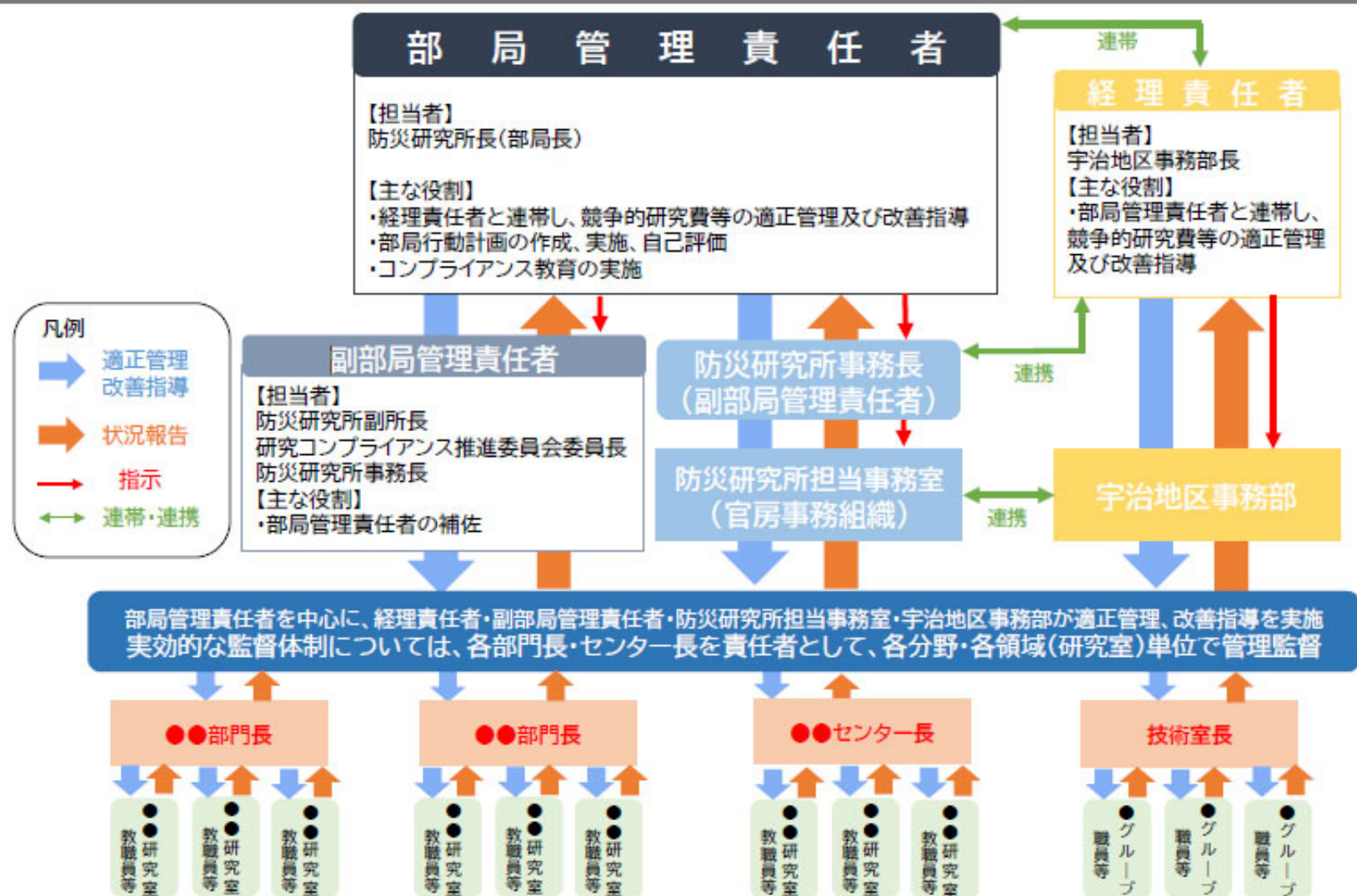
○防災研究所 不正防止に関する全所集会（過去 3 か年分）

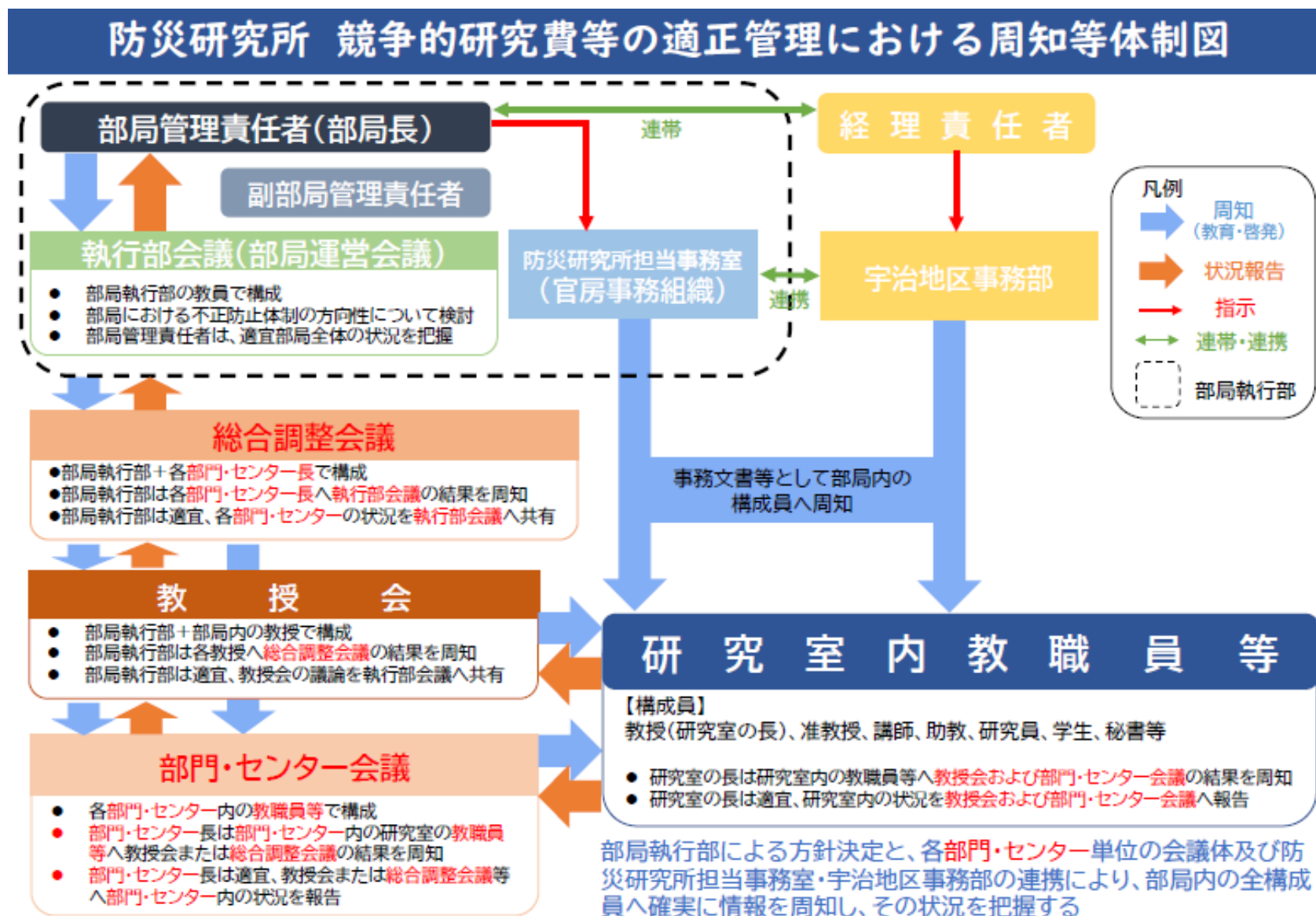
開催日	時間	場所
令和 5 年 2 月 22 日	16:30～ 16:45	きはだホール および Zoom のハイブリッド
令和 6 年 2 月 22 日	16:30～ 16:45	きはだホール および Zoom のハイブリッド
令和 7 年 2 月 21 日	16:40～ 16:55	きはだホール および Zoom のハイブリッド

2.2.5 その他委員会

厚生委員会は、防災研究所構成員（教員・事務職員・技術職員・学生）の福利厚生の一環として、文化・スポーツ・レクリエーション活動等の行事を開催した。令和 6 年度は、文化事業 1 件、スポーツ事業 2 件、ならびにレクリエーション事業 1 件を実施した。スポーツ事業では、昨年に引き続いてボウリング大会を実施し、教員から学生まで 76 名に参加いただいて盛況な会とすることができた。

防災研究所 競争的研究費等の適正管理における責任体系図





令和 6 年度

委員会名	教授	准教授	講師	助教	事務・技術室	業務内容	開催数
将来計画検討委員会	12	0	0	0	2	防災研究所の組織，人事等について検討を行った。	11
フィールド研究拠点専門委員会	3	2	0	1	0	フィールド研究拠点の運営に関する検討を行い，経費の基礎資料を更新した。	2
施設整備専門委員会	3	2	0	0	0	スペース台帳システムを更新した．特別配当「研究環境整備」（2回）の審査を行った．要撤去施設のリストを更新した。	2
技術専門委員会	3	1	0	0	1	全学的な技術支援体制改革への対応について継続協議し，専門職（技術）の配置申請ならびに採用に向けた準備を行った．技術室長の役職定年に伴う昇任について申請を行った．また，派遣職員や事務補佐員の配置検討を実施した。	3
男女共同参画推進専門委員会	2	2	0	3	0	男女共同参画アクションプランを実践し，その進捗状況について確認するとともに，女子中高生魅力見える化コンテンツ等作成支援事業を活用して女子中高生の進路選択の参考とするためのウェブコンテンツを作成した。	1
研究・教育委員会	6	0	0	0	3	研究企画推進室，教育専門委員会，図書専門委員会，DPRI シリーズ出版編集専門委員会，拠点間連携共同研究委員会，持続可能社会創造ユニット，自然災害研究協議会を統括し，研究・教育に関わる事項の検討を行った。	11
研究企画推進室	4	3	0	0	4	科研費申請のための企画構想ブレインストーミング会，重点課題ワークショップの開催，研究成果の分析，共同利用・共同研究拠点の事務局として共同研究，拠点委員会のサポート，共同利用・共同研究拠点の WEB ページの再編，DPRI Award の審査を行った。	11
教育専門委員会	2	0	0	0	0	所内新入生向けのガイダンスを開催した．論文出版助成，海外渡航支援の審査を行った。	2
図書専門委員会	2	3	0	0	0	図書，雑誌，電子ジャーナル，および必要経費の検討	6
DPRI シリーズ出版編集専門委員会	4	2	0	0	0	DPRI シリーズ出版計画について進捗管理	-
広報国際委員会	6	0	0	0	3	広報・出版専門委員会，行事推進専門委員会，国際交流専門委員会，情報基盤専門委員会，世界防災研究所連合事務局，広報出版企画室の活動内容の確認と審議	12
広報・出版専門委員会	3	7	1	1	5	ホームページの改訂，要覧の更新，ニューズレターの発行，年報の発行，文科省エントランス展示などを行った	2
行事推進専門委員会	3	7	1	1	5	黄檗プラザで公開講座を開催した．宇治キャンパス公開の支援をした．令和 6 年度防災研究所研究発表講演会を開催した。	7

国際交流専門委員会	3	3	0	0	0	海外機関との部局間学術交流協定の新規締結や更新の提案に関するの審議検討や、防災研究所と海外研究者との交流関連の対応に関する検討を行った。	15
情報セキュリティ委員会	4	3	0	1	4	ネットワークのセキュリティ確保に関わる事項、ソフトウェアのライセンス管理、情報セキュリティ講習会の開催を通じた啓発活動などを担当した。	5
自己点検・評価委員会	2	4	0	0	3	年報 C の編集作業及び教員評価のとりまとめを行った。	6
業績評価委員会	2	0	0	0	0	教員の業績評価に関する業務を行なった。	2
厚生委員会	0	1	0	1	2	防災研究所構成員（教員・事務職員・技術職員・学生）の福利厚生の一環として、文化・スポーツ・レクリエーション活動等の行事を開催	1
人権委員会	5	2	0	0	1	研究所における同和問題等の人権問題及びハラスメント問題の防止に関し必要な事項及び人権問題等が生じた場合における適切な対応等をとるための事項を審議した。	3
研究コンプライアンス推進委員会	3	1	0	0	1	「防災研究所における研究データ管理・公開に関する実施方針」の策定を行なった。	1
財務委員会	5	0	0	0	1	防災研究所の予算・執行についての確認を行なった。	2
放射線障害防止委員会	3	1	0	0	0	京都大学における放射性同元素等の規制に関する規程に基づいて、所有する X 線発生装置と放射線業務従事者を適正に管理した。	1
安全衛生委員会	4	1	0	0	3	安全衛生巡視計画の策定など所内の安全衛生に関する取り組みを進めた。	-

所内委員会等委員名簿

(2024. 10. 1 現在)

委員会名	委員名	任期
将来計画検討委員会（含む人事準備会）	☆榎本, 森, 畑山, 佐山, 松四, 中谷, 王, 牧, 池田, 吉村, 深畑, 西嶋, 山崎（事）, 岡本（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
フィールド研究拠点専門委員会	☆牧, 中道, 川池, 馬場, 山崎（新）, 山下 ^{※1}	2024. 4. 1～2026. 3. 31 ^{※1} 2024. 6. 1～2026. 3. 31
施設整備専門委員会	☆西嶋, 大見, 小暮, 米山, 田中（智） ^{※1}	2024. 4. 1～2026. 3. 31 ^{※1} 2024. 6. 1～2026. 3. 31
技術専門委員会	☆松四, 澁谷, 山上, 倉田, 吉川（技）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（総務課人事掛）
男女共同参画推進専門委員会	☆榎本, 中谷〔幹事〕, 土井, 山田（澄）, 畑, 中野, 山本 EVA	2024. 4. 1～2026. 3. 31
研究・教育委員会	☆境, 松島（信）, 池田, 渦岡, 竹見, 宮澤, 山崎（事）, 岡本（事）, 真田（推）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
研究企画推進室	☆境, 松島, 浅野, 佐山, 吉田, 松田, 竹林, 真田（推）, 岡本（事）, 山本（事）, 村田（URA）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（研協課拠点支掛）
教育専門委員会	☆宮澤, 田中（賢）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（総務課総務掛）
図書専門委員会	☆松島 ^{※1} 〔図書館協議員〕, 澁谷, 廣井 ^{※2} 〔宇治分館運営委〕, 志村, 上田	2024. 4. 1～2026. 3. 31（研協課学情掛） ^{※1} 2024. 4. 1～2025. 3. 31 ^{※2} 2024. 4. 1～2026. 3. 31
DPRI シリーズ出版編集専門委員会	☆池田, 竹見, Cruz, Kantoush, 野田, 小林	2024. 4. 1～2026. 3. 31
広報国際委員会	☆矢守, 渦岡, 深畑, 田中（賢）, 五十嵐, 多々納, 吉川（技）, 佐伯（広）, 山崎（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
広報・出版専門委員会	☆深畑, 関口, 吉田, 上田, 竹見, ラウルナ, 廣井, 野田, 山崎（新）, 西嶋, 宮下, 徐, 佐伯（広）, James（広）, 松浦（技・広）, 稲田（広）, 永井（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（総務課総務掛）
行事推進専門委員会	☆田中（賢）〔研究発表講演会〕, 後藤〔公開講座〕, 宮澤 ^{※1} , 伊藤（耕） ^{※2} 〔キャンパス公開〕, 西野, 山田（澄）, 土井, 長嶋, 関口, 萬, 山口, 山野井, 山田（史）, 中本（技）, 佐伯（広）, James（広）, 松浦（技・広）, 稲田（広）, 中野（事）, 北村（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（研協課拠点支掛） ^{※1} 2024. 4. 1～2024. 12. 31 ^{※2} 2024. 1. 1～2024. 12. 31
国際交流専門委員会	☆五十嵐, Cruz, 伊藤（耕）, Kantoush, 倉田, 伊藤（喜）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（研協課国流掛）
世界防災研究所連合（GADRI）事務局	☆多々納〔GADRI 事務局長〕, 牧, Cruz, 竹見, 森, Samaddar, 藤見, 後藤, 吉村, 松四, 川池, 山上, Kantoush, 中野, 松浦（技・広）, James（広）, 岡田（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
情報セキュリティ委員会	☆所長, 西村, 浅野〔情報セキュリティ技術責任者〕, 渦岡, 藤見, 長嶋, 伊藤（耕）, 小柴, 吉川（技）, 山崎（技）, 川崎（技）, 岡本（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
自己点検・評価委員会（含む外部評価）	☆西村, 吉村, 志村, 松田, 為栗, 寺嶋, 山崎（技）, 澤田（技）, 山崎（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（総務課総務掛）
業績評価委員会	☆所長, 西村	2024. 4. 1～2026. 3. 31
厚生委員会	☆山野井, 西川, 名田（技）, 永井（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（担当事務室）
人権委員会	☆所長, 榎本, 西村, Cruz, 中谷, 土井, 長嶋, 山口（事務部長）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
ハラスメント窓口相談員	Cruz, 中谷, 土井, 山崎（事）, 岡本（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（総務課総務掛）
研究コンプライアンス推進委員会	☆西村, 畑山, 林, 萬, 山崎（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31
財務委員会	☆所長, 榎本, 境, 矢守, 西村, 山崎（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（経理課財企掛）
放射線障害防止委員会	☆所長, 西村, 松四, 土井	2024. 4. 1～2026. 3. 31
安全衛生委員会	☆所長, 西村, 森〔幹事〕, 吉川（技）〔副幹事〕, 渦岡 ^{※1} , 松澤, 山崎 ^{※1} （技）, 永井（事）	2024. 4. 1～2026. 3. 31 ^{※1} 2024. 10. 1～2025. 9. 30
衛生管理者資格保持者	総合防災 G（牧, 畑山, 佐山, 関口, 中野）, 地震・火山 G（松島, 吉村, 宮澤, 大見, 後藤, 深畑, 倉田, 伊藤（尊）, 野田, 為栗, 山崎（健）, 山本（圭））, 地盤 G（渦岡, 松四, 山崎（新）, 土井）, 大気・水 G（川池, 竹見, 田中（賢）, 馬場, 竹林, 吉田, 井口（敬）, 山野井, 仲）, 技術室（吉川, 三浦, 富阪, 松浦, 澤田, 山崎, 米田, 園田, 小松, 久保, 市田, 川崎, 中川, 長岡, 中本, 宮町, 名田, 達山）	
部局安全保障輸出管理担当者	所長〔部局安全保障輸出管理責任者〕, 川池	2024. 4. 1～2026. 3. 31
奨学金運営委員会	☆所長, 境, 宮澤, 後藤	2024. 4. 1～2026. 3. 31
共同利用・共同研究拠点委員会	1 号委員：境〔事務局長〕, 中道, 田中（賢）, 大見 事務局：松島, 浅野, 佐山, 吉田, 松田, 竹林, オブザーバー：所長	2024. 4. 1～2026. 3. 31（研協課拠点支援掛）
自然災害研究協議会	1 号委員：池田 ^{※1} , 3 号委員：王〔総務〕, 角〔国際連携〕, 山口〔突発災害〕, 小林〔企画調査〕, 6 号委員：畑山, 廣井〔データベース〕, オブザーバー：所長, 境（研究・教育担当副所長）	2024. 4. 1～2026. 3. 31（研究協力課） ^{※1} 2023. 4. 1～2025. 3. 31
防災研究連携委員会（防災研究フォーラム・防災研究ハブ幹事会）	所長, 多々納, 榎本, 境, 矢守, 西村	2024. 4. 1～2026. 3. 31
東大地震研・京大防災研 拠点間連携共同研究委員会	1 号委員：牧〔委員長〕, 小暮, 大見, 西野, 山田（澄） オブザーバー：所長	2024. 4. 1～2026. 3. 31

（備考；☆は委員長 カッコ内の課・掛は宇治地区事務部の対応協力課・掛）（順不同）

2.3 予算の変遷

(単位：千円)

年度 区分	初年度	昭和56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
国立学校特別会計予算額	5,639	1,452,992	1,447,229	1,604,762	1,623,254	1,744,303
人件費	2,394	814,960	800,668	872,999	990,848	1,002,841
物件費	3,152	596,852	602,514	688,403	608,741	645,062
営繕費	93	41,180	44,047	43,360	23,665	96,400
科学研究費補助金	0	150,162	97,020	147,926	96,642	173,107
計	5,639	1,603,154	1,544,249	1,752,688	1,719,896	1,917,410

年度 区分	61年度	62年度	63年度	平成元年度	2年度	3年度
国立学校特別会計予算額	1,662,724	2,482,223	1,568,059	1,804,128	2,149,254	2,353,941
人件費	976,975	1,102,903	957,081	1,128,507	1,284,013	1,506,774
物件費	619,149	707,984	558,928	593,256	825,441	835,867
営繕費	66,600	671,336	52,050	82,365	39,800	11,300
科学研究費補助金	146,133	146,492	113,503	138,401	156,317	177,200
計	1,808,857	2,628,715	1,681,562	1,942,529	2,305,571	2,531,141

年度 区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
国立学校特別会計予算額	2,197,911	3,521,347	2,318,182	4,058,312	2,791,900	2,571,205
人件費	1,312,878	1,548,227	1,346,525	1,349,277	1,385,239	1,477,829
物件費	837,033	1,967,328	933,254	2,663,035	1,405,561	1,079,476
営繕費	48,000	5,792	38,403	46,000	1,100	13,900
科学研究費補助金	133,100	221,600	182,300	212,900	250,100	231,000
計	2,331,011	3,742,947	2,500,482	4,271,212	3,042,000	2,802,205

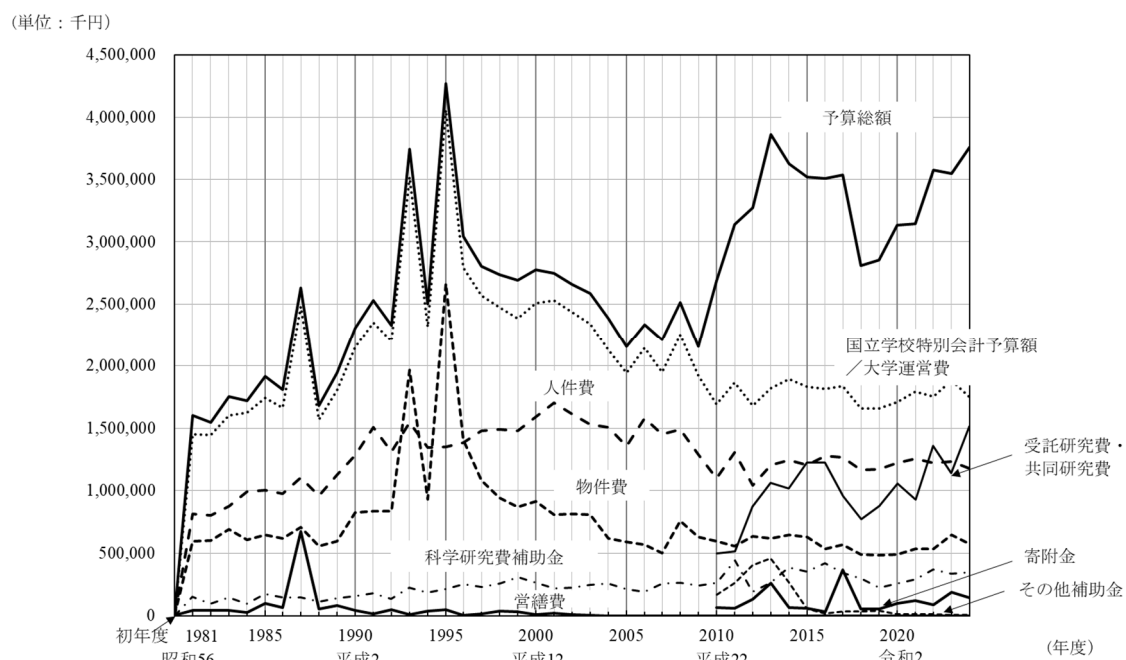
年度 区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
国立学校特別会計予算額	2,476,604	2,382,222	2,510,565	2,530,143	2,435,081	2,340,243
人件費	1,492,972	1,477,544	1,589,034	1,702,589	1,611,983	1,527,295
物件費	944,690	872,148	913,998	806,733	815,098	809,060
営繕費	38,942	32,530	7,533	20,821	8,000	3,888
科学研究費補助金	257,781	308,676	263,180	219,500	224,900	248,400
計	2,734,385	2,690,898	2,773,745	2,749,643	2,659,981	2,588,643

年度 区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
国立学校特別会計予算額	2,126,120	1,942,384	2,143,004	1,950,987	2,248,895	1,918,545
人件費	1,509,566	1,353,384	1,577,004	1,449,987	1,492,098	1,287,849
物件費	616,554	589,000	566,000	501,000	756,797	630,696
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	257,500	212,000	189,300	259,110	265,200	238,090
計	2,383,620	2,154,384	2,332,304	2,210,097	2,514,095	2,156,635

年度 区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
運営費交付金予算額	1,690,832	1,862,960	1,678,657	1,821,466	1,891,171	1,828,777
人件費	1,097,671	1,304,999	1,043,967	1,204,843	1,244,096	1,202,326
物件費	593,161	557,961	634,690	616,623	647,075	626,451
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	262,120	440,390	188,750	261,600	385,609	352,873
受託研究費・共同研究費	495,391	514,564	872,859	1,063,866	1,019,302	1,226,920
寄附金	66,974	57,936	133,263	260,763	61,690	56,935
その他の補助金	169,173	263,558	401,266	456,056	267,395	57,217
計	2,684,490	3,139,408	3,274,795	3,863,751	3,625,167	3,522,722

年度 区分	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
運営費交付金予算額	1,816,579	1,835,646	1,659,469	1,658,816	1,710,683	1,793,892
人件費	1,279,742	1,265,541	1,168,358	1,172,665	1,219,617	1,257,048
物件費	536,837	570,105	491,111	486,151	491,066	536,844
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	417,970	341,950	295,935	224,663	259,141	289,690
受託研究費・共同研究費	1,227,236	957,311	770,261	879,749	1,058,131	926,978
寄附金	33,526	365,864	51,457	54,783	97,343	119,787
その他の補助金	14,152	34,613	31,720	37,812	9,485	12,638
計	3,509,463	3,535,384	2,808,842	2,855,823	3,134,783	3,142,985

年度 区分	4年度	5年度	6年度
運営費交付金予算額	1,753,600	1,881,835	1,749,975
人件費	1,219,782	1,233,511	1,176,150
物件費	533,818	648,324	573,825
営繕費	-	-	-
科学研究費補助金	367,126	335,009	348,105
受託研究費・共同研究費	1,360,367	1,139,127	1,513,436
寄附金	85,519	187,473	140,368
その他の補助金	11,300	6,600	6,191
計	3,577,912	3,550,044	3,758,075



- 1) 平成 15 年度までの「国立学校特別会計予算額」は，平成 16 年の国立大学法人化以降は「大学運営費予算額」とした．それらは，「人件費」，「物件費」および「営繕費」の合計である．
- 2) 平成 16 年度以降，営繕に係る費用は「物件費」に含む．
- 3) 平成 22 年度以降，60 年史には掲載されていない「受託研究費・共同研究費」，「寄附金」および「その他の補助金」の受入額を追加した．
- 4) 「受託研究費・共同研究費」には，受託事業費と共同事業費も含まれる．

2.4 隔地観測所・実験所

地震災害研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

- A** 上宝観測所 Kamitakara Observatory
〒506-1317 岐阜県高山市上宝町本郷 2296-2
Tel. 0578-86-2350
- B** 北陸観測所 Hokuriku Observatory
〒916-0034 福井県鯖江市下新庄町 88 下北山 29
- C** 逢坂山観測所 Osakayama Observatory
〒520-0054 滋賀県大津市逢坂 1
- D** 屯鶴峯観測所 Donzurubo Observatory
〒639-0252 奈良県香芝市穴虫 3280-2
- E** 鳥取観測所 Tottori Observatory
〒680-0004 鳥取県鳥取市北園 1 丁目 286-2
- F** 宮崎観測所 Miyazaki Observatory
〒889-2161 宮崎県宮崎市加江田 3884
Tel. 0985-65-1161
- G** 阿武山観測所 Abuyama Observatory
〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944
Tel. 072-694-8848
- H** 徳島観測所 Tokushima Observatory
〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井 2642-3

火山活動研究センター

Sakurajima Volcano Research Center

- I** 桜島火山観測所 Sakurajima Volcanological Observatory
〒891-1419 鹿児島県鹿児島市桜島横山町 1722-19
Tel. 099-293-2058

斜面防災学研究所

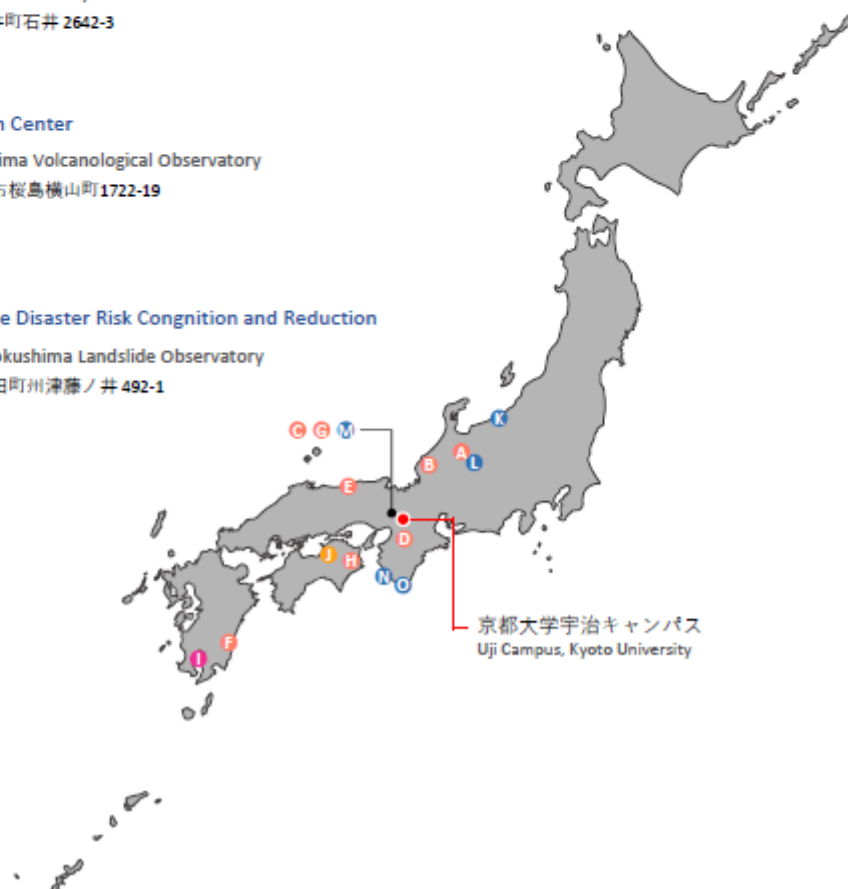
Research Center for Landslide Disaster Risk Congnition and Reduction

- J** 徳島地すべり観測所 Tokushima Landslide Observatory
〒778-0020 徳島県三好市池田町津藤ノ井 492-1
Tel. 0883-72-1075

流域災害研究センター

Research Center for Fluvial and Coastal Disasters

- K** 大潟波浪観測所 Ogata Wave Observatory
〒949-3111 新潟県上越市大潟区四ッ屋浜 578-2
Tel. 075-611-0520
- L** 穂高砂防観測所 Hodaka Sedimentation Observatory
〒506-1422 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾 436-13
Tel. 0578-89-2154
- M** 宇治川オープンラボラトリー Ujigawa Open Laboratory
〒612-8235 京都府京都市伏見区横大路下三栖東ノ口
Tel. 075-611-4391
- N** 白浜海象観測所 Shirahama Oceanographic Observatory
〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町壱田 2500-106
Tel. 0739-42-4352
- O** 潮岬風力実験所 Shionomisaki Wind Effect Laboratory
〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 3349-134
Tel. 0735-62-0693



2.5 研究環境整備・助成事業

所長裁量経費による研究環境整備や若手・女性研究者，国際的活動への助成事業について，記載する。

2.5.1 研究環境整備事業採択状況

年度	実施回数	採択件数	配当額
令和 2	2	21	16,979,000
令和 3	2	23	17,859,000
令和 4	2	27	18,977,700
令和 5	2	22	16,437,200
令和 6	2	29	21,437,000

※配当額は採択時の金額

2.5.2 女性・若手研究者支援採択状況

年度	実施回数	採択件数	配当額
令和 2	2	13	1,614,011+\$3800+€1400
令和 3	1	2	415,000
令和 4	1	4	791,000
令和 5	1	8	1,872,000
令和 6	2	8	1,358,113

※配当額は採択時の金額

2.5.3 博士学位論文支援採択状況

年度	実施回数	採択件数	配当額
令和 2	1	8	383,488
令和 3	1	2	97,092
令和 4	1	2	97,329
令和 5	1	6	276,000
令和 6	-	-	-

※配当額は採択時の金額

2.5.4 博士後期課程学生の海外渡航支援採択状況

年度	実施回数	採択件数	配当額
令和 5	1	7	1,269,000
令和 6	1	8	2,185,977

※令和 5 年度より実施事業，配当額は採択時の金額

2.5.5 国際交流・国際共同研究事業採択状況

年度	実施回数	採択件数	配当額
令和 2	-	-	-
令和 3	-	-	-
令和 4	1	8	7,372,000
令和 5	1	6	5,854,000
令和 6	1	7	5,728,500

※配当額は採択時の金額，令和 2 年度・3 年度はコロナのため公募無し

2.6 表彰

2.6.1 DPRI Award

- **受賞者：** Dr. Pierre-Yves Bard (ピエー イーヴ・バード)
Senior Research Scientist, ISTERRE (Institut des Sciences de la Terre, Université Grenoble Alpes) [グルノーブル・アルプ大学 地球科学研究所 上級研究員]
- **賞の名称：** 第 10 回防災研究所国際表彰 DPRI Award (2023 年度) 研究教育業績賞 受賞者
- **授賞理由：**
Bard 博士は、欧州における強震動研究の第一人者であり、国際的にも影響力が非常に大きい研究者であります。また防災研との継続的な共同研究において、国際的な学際研究を牽引し、国際プレゼンスの向上に大いに貢献されてきました。Pierre-Yves Bard 博士の研究教育の業績および防災研究所の所員の研究教育への貢献に鑑み「研究教育業績賞」を授与することに決定いたしました。

授賞式は下記のとおり実施した。

日時： 2024 年 12 月 9 日(月) 12:30～14:30

場所： 京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール及びオンライン配信

2.6.2 京都大学防災研究所 研究発表講演会 優秀発表賞

2025 年 2 月 20-21 日に開催された研究発表講演会において、一般講演・ポスターセッションの若手研究者による発表の中から特に優れた発表を「優秀発表賞」として表彰した。
令和 6 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 優秀発表賞（14 名）

◆口頭発表（8 名）

- A111 田中穂乃香「聴覚障がい者の災害情報へのアクセス改善に関する研究」
- A202 宮副真夢「石英多結晶体剪断実験の回収試料を用いた塑性変形割合の定量化」
- A302 松尾佳星「AGCM を用いた SST アンサンブル気候実験に基づく台風特性の将来変化」
- B104 河谷能幸「偶然性の影響解明に向けた線状対流系の水平渦管構造の解析」
- C106 小川泰生「ストームトラック活動と上流の環境場の関係-ラグランジュ的およびオイラー的視点から-」
- C311 藤井天真「我が国の伝統的な河川地形管理の理念に基づく流路交番現象の促進手法についての研究」
- D101 Yuxuan LUO「Particle Size Segregation in Bi-disperse Granular Flows: Experimental and Numerical Research」
- D102 Changze LI「Numerical Study on Multi-Block Rockfall with Complex-Shaped Block Using Improved 3D Discontinuous Deformation Analysis」

◆ポスター発表（6 名）

- P24 桐森 元規「水害避難スイッチの決め方 ―滋賀県芹川氾濫原での事例研究―」
- P29 福島実「2023 年 1 月の日本の寒波事例に対するアンサンブル随伴感度解析」
- P34 近藤有史「数値解析による斜面土層間隙水圧の稠密観測結果の説明と豪雨時の再現シミュレーション」
- P37 矢野むつみ「土石流発生予測に向けたヒル谷における浸透流量と河床堆積土砂量の観測」
- P45 西沢 貴志「地形・重力異常から読み解く沈み込みの帯の多様性」
- P49 小山凱「統計モデルを用いた大地震前の前震活動加速現象に関する全世界的調査」

2.7 自然災害研究協議会

自然災害研究協議会は、全国の防災関連研究機関・研究者のネットワークを通じて、研究者の連携による自然災害研究推進を目的とした様々な活動を行っている。年 3 回の協議会を開催して重要事項を審議するほか、下記の事業を推進している。

1) シンポジウム等の開催

自然災害の調査研究の成果発表の場として、各種の研究集会等を開催している。本部の主催行事としては、自然災害科学総合シンポジウムを毎年開催している。

・第 61 回 自然災害科学総合シンポジウム
2024 年 9 月 21 日：ハイブリッド開催（千葉大学西千葉キャンパスけやき会館大ホールおよび Zoom）

災害調査報告 4 件，研究報告 2 件，現地参加者（32 人）Zoom 参加者（40 人）

・河川災害に関するシンポジウム（土木学会水工学委員会との共催）

2024 年 4 月 10 日（水）13:00-15:00 場所：土木学会講堂および ZOOM によるオンライン参加者：702 名

2) 突発災害調査の実施（特別研究促進費）
突発災害発生時に調査研究チームを結成し、

科学研究費補助金特別研究促進費の申請とその助成に基づく調査研究を実施している。調査成果は上記の自然災害科学総合シンポジウムでの講演発表を通じて情報共有を図っている。

・能登半島北東部において継続する地震活動に関する総合調査

研究代表者：平松良浩（金沢大学教授）

※令和 5 年度より継続

3) 突発災害調査研究支援

京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点重点推進型共同研究に基づく突発災害発生時の研究者による初動調査やその後の継続的調査等の支援を実施している。

・2024 年能登半島地震により発生した地震地すべりの地質要因について

・POST-FLOOD SURVEY IN THE CAGAYAN RIVER BASIN, ISABELA, PHILIPPINES

4) 防災研究情報の共有環境整備

・災害資料データベース SAIGAI の管理
・メーリングリストによる自然災害研究者ネットワークの整備

5) 国際展開調査

・世界防災研究所連合 GADRI との連携

委員会名	委員構成					業務内容	開催数
	教授	准教授	講師	助教	事務技術室		
自然災害研究協議会	6	3	0	0	1	突発災害調査研究支援・研究者ネットワークの整備・シンポジウムなどの開催	4